

## ～ビブリオバトル座談会を開催しました～

2022年11月  
C3 人社2年 藤川

## 1. ビブリオバトル座談会の開催目的・背景

ビブリオバトル座談会は、ビブリオバトルでは話せなかったことや質問できなかったことをバトラー（発表者）同士で自由に話し合える機会を作ることを目的としてC3メンバーが発起人となり、開催しています。

## 2. ビブリオバトル座談会開催の日時、場所、参加者について

日時…11/14（月）14時15分～15時30分 場所…図書館AV室

参加者…5名（司会1名、バトラー4名）

司会…弘嶋正太（人社3年）バトラー…「(50音順) 石田心美（経済1年）、森岡莉子（人社3年）、森實陸（経済4年）、藤川藍子（人社2年）」

※弘嶋、石田、森岡、藤川はC3メンバー兼任。



松山大学ビブリオバトル2022（後期）は7名のバトラーが参加し、それぞれ持ち寄った本を紹介しました。投票の結果、森實陸さん（経済4年）が紹介した『失われたドーナツの穴を求めて』（芝垣亮介、奥田太郎編）がチャンプ本に決定しました。また、準優勝には、森岡莉子さん（人社3年）が紹介した『俺ではない炎上』（浅倉秋成著）が選ばれました。

## 3. 座談会に参加したバトラーの紹介本

石田心美  
『手紙屋』  
(喜多川 泰 著)

藤川藍子  
『マジカルグランマ』  
(柚木 麻子 著)

森岡莉子  
『俺ではない炎上』  
(浅倉 秋成 著)



森實陸  
『失われたドーナツの  
穴を求めて』（芝垣 亮  
介、奥田 太郎 編）



ビブリオバトルについて  
詳しく知りたい方は  
こちら！

## 4. C3メンバーがビブリオバトル座談会の企画を実施した感想

座談会の前半は、C3メンバー以外は初対面なこともあり、少し緊張した雰囲気でした。しかし、後半になると緊張感も解け、事前に用意されていた質問以外の話題もたくさん登場する賑やかな雰囲気になりました。（藤川）

## 5. 成果

今回の座談会は、とても賑やかな雰囲気で終わることができました。後半では、ビブリオバトル出場の準備の話でかなり盛り上がりました。ただ、1つ今後の課題だと感じたのは、一部の参加者が共通の話題で盛り上がりしまうと、他の参加者が会話に入りづらくなることです。今後、座談会の司会者になる方には、あまり会話に参加できていない人がいたら意識的に話を振るなどしてサポートして頂きたいです。

## 6. ふり返り

今回の座談会は、とても楽しい雰囲気で進めることができました。そして、座談会での会話の進め方について新たな課題も見つかりました。この経験を今後のC3活動に生かし、図書館の活性化に貢献していきたいです。

## バトラーとの Q&A

**Q1** ビブリオバトルに出てみようと思ったきっかけは何ですか？

藤川：大学生のうちに経験を積みたかったから。

石田：本が好きなので、自分の好きな本をみんなに知って欲しいから。それと、前期のビブリオバトルが楽しかったので、また参加したかったから。

森岡：この本を紹介したかったから。ビブリオバトルをやってみて、喋るのが楽しかったから後期も出てみようと思って。

森實：図書カードが欲しかったのと、本が好きだったから。あと、ポッドキャストでいろんな作品を紹介している人の話を聞いて、こういう風に話してみたいと思ったから。

**Q2** なぜその本を選んだのですか？

藤川：ベストセラーコーナーで見つけて、そのまま自分で買ったから。

石田：図書館でひとめぼれしたから。読み終わって、これはいろんな人に読んで欲しいと思った。出てくる言葉がすごく素敵でいろんな人に希望を与えてくれる。これを届けたいと思った。

森岡：この本が出てすぐに買ったけど、ずっと読んでいなくて、本のタイトルやあらすじを見ると何かがありそうで、ネタバレしない程度で面白く喋れるのではないかと思ったから。あと、みんなの感想が聞きたかったから。

森實：ビブリオバトルはインパクト勝負だと考えていて、その本に一番インパクトがあったから。

**Q3** ビブリオバトル全体を通しての感想を教えてください。

藤川：自分の至らなかつた部分が多すぎて、もう一度リベンジしたいと思った。

石田：1回目に比べて、より楽しくできたので良かった。前期のビブリオバトルとは違う方が多かったので、新たな本に出会うことができた。みなさんの話し方を参考にしてまた挑戦したい。

森岡：過去最大に失敗した。今回は7人いて、全員上手すぎて投票タイムに悩みに悩んで決めた。いろんなジャンルがあって、聞いていて楽しかった。

森實：最初、どんな人がいるのか全然想像出来なくて、何も考えずに行った。でも、いざこういう場に出てみると、いろんな人がいて、それぞれがいろんな本が好きだったり、いろんな発表の仕方をしたりしていた。大学っていろんな人がいるなと再発見できた。



## 座談会の感想

藤川：みなさんが本を読むときに、セリフに声がついているのか、また、イメージを膨らませて読んでいるのかということが気になっていたの、みなさんから意見が聞けて良かった。

石田：みなさんの、普段こんな本を読んでいるとか、話してみないと分からないことが聞けて楽しかった。次回もあったら参加したい。

森岡：ビブリオバトルのことや読書生活について聞けて良かった。私はセリフの声が聞こえるのが普通だと思っていたので衝撃だった。学部・学年関係なく関わられたので楽しかった。

森實：発表を聞いている時、みんなめっちゃくちゃ真面目な感じがして、すごい、この場のために用意してるんだろうなと思った。話してみたら、みんな実際に発表を聞いた時の印象のまま、発表する時に人柄も垣間見えて面白いなと思った。